

令和5年5月10日
 健康福祉政策課 感染症対策担当
 担当者 廣重、緒方
 内線 1840、1845 直通 0952-25-7075
 E-mail: kenkoufukushiseisaku@pref.saga.lg.jp

マダニによる感染症に注意しましょう ～SFTSや日本紅斑熱の感染者が発生しています～

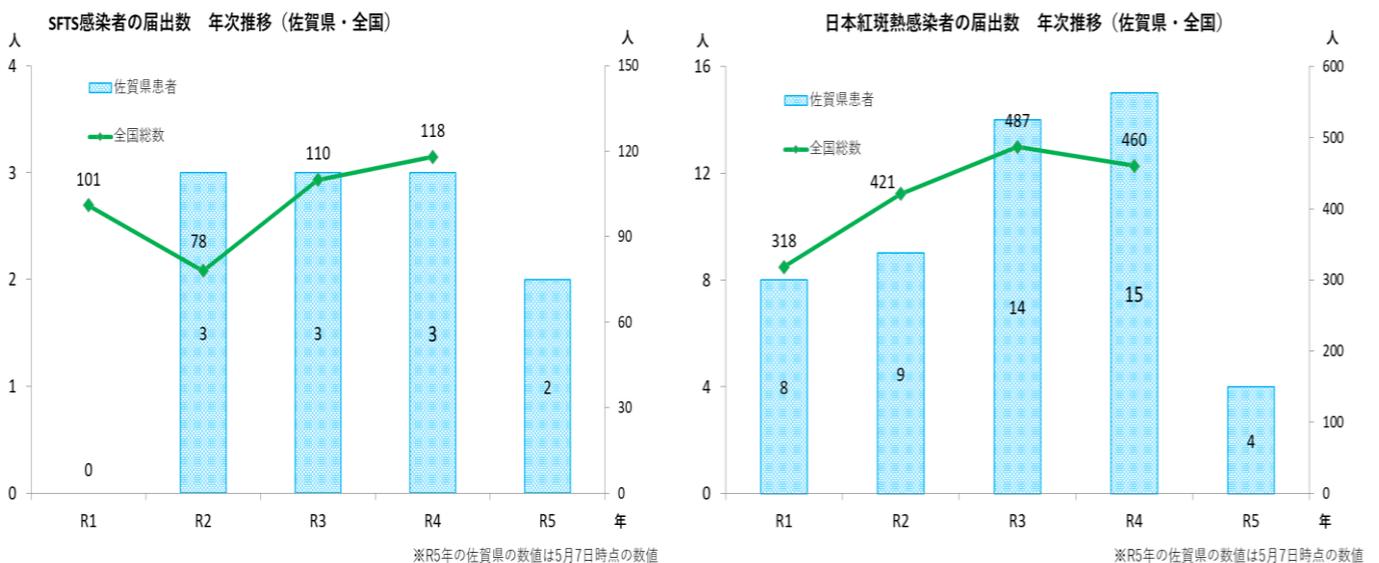
マダニは重症熱性血小板減少症候群（SFTS）や日本紅斑熱などの病気の原因となる病原体を保有していることがあり、咬まれることでこれらの病気に感染することがあります。

感染予防対策としては、マダニに咬まれないようにすることが重要です。

マダニの活動が盛んな春から秋にかけては、マダニに咬まれる危険性が高まります。農作業、キャンプ、ハイキングなど山や草むらでの野外活動の際は、マダニに咬まれないよう長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴、帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等、肌の露出を少なくし、十分な対策を講じてください。

ダニに咬まれた場合は、無理に引き抜こうとせず、医療機関を受診しましょう。

【参考】SFTS及び日本紅斑熱の感染者届出数 年次推移（佐賀県・全国）



※添付資料 「ダニ」にご注意ください

「ダニ」にご注意ください



山や草むらでの野外活動の際は、ダニに注意しましょう



春から秋にかけてキャンプ、ハイキング、農作業など、山や草むらで活動する機会が多くなる季節です。

野山に生息するダニに咬まれることで

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、つつが虫病、ライム病などに感染することがあります。

ダニに咬まれないためのポイント！

●肌の露出を少なくする

⇒帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等

●長袖・長ズボン・登山用スパッツ等を着用する

⇒シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中

●足を完全に覆う靴を履く

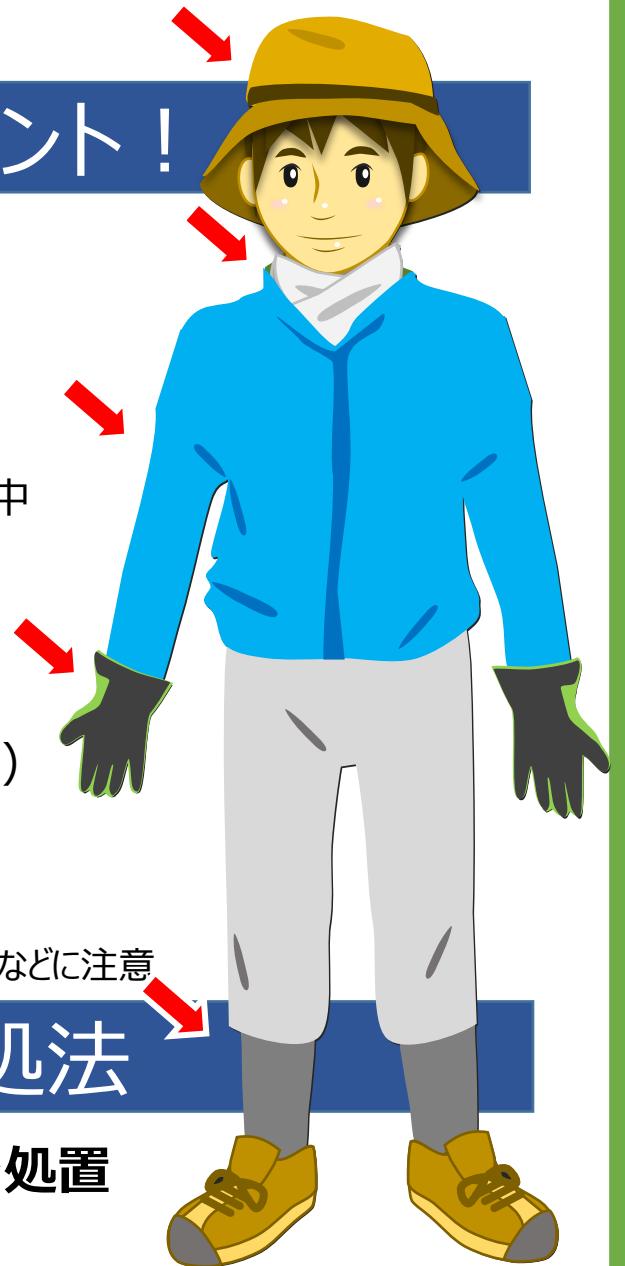
⇒サンダル等は避ける

●明るい色の服を着る（マダニを目視で確認しやすくするため）

* 上着や作業着は家の中に持ち込まないようにしましょう

* 屋外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認をしましょう

特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部（髪の毛の中）などに注意



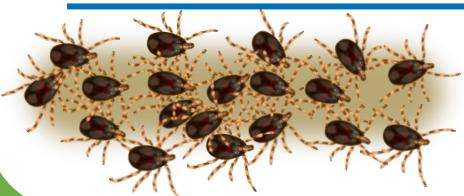
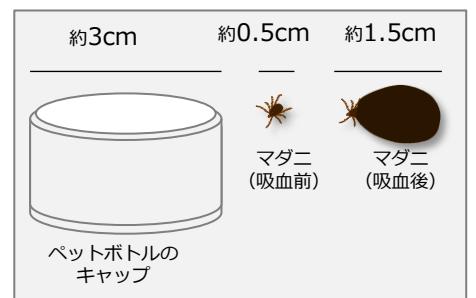
ダニに咬まれたときの対処法

●無理に引き抜こうとせず、医療機関（皮膚科など）で処置（マダニの除去、洗浄など）をしてもらいましょう。

●マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けて下さい。

【受診時に医師に伝えること】

①野外活動の日付け、②場所、③発症前の行動



ダニ媒介感染症（厚生労働省）

各地域のダニ媒介感染症の状況については各自治体HPも参考にしてください

